

1U-5

DS6500シリーズにおける電子会議システム

増田秀明 中村 洋
(株)東芝 府中工場

坂井浩二
日本システム(株)

1. はじめに

オフィスにおける作業効率の向上には、文書などの情報の作成とならんで、それらの円滑な交換、効率的な蓄積が必要である。これらをサポートするツールとして、電子メール、電子ファイルまたは電子会議などのシステムが普及してきている。本稿では、新しく開発したDS6500シリーズにおける、多人数対多人数のコミュニケーションをサポートする電子会議について述べる。同シリーズでは、電子メール、電子ファイルも用意されており、各ツールを利用することにより、より高度なコミュニケーション環境を実現できる。

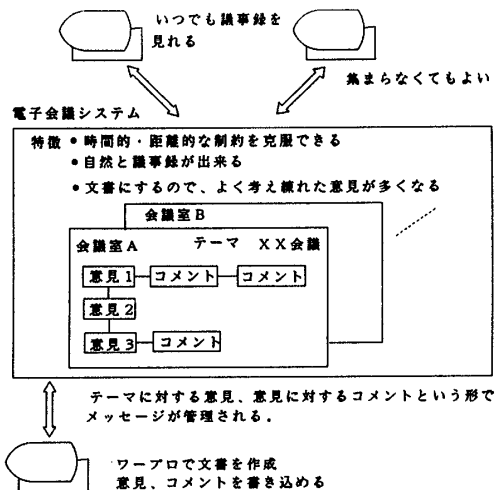


図1 電子会議の概念

2. システム構成

電子会議システムは、DS6500シリーズのミニコンをホスト計算機とし、パソコン(J-3100)を端末としてLANに接続する形態でシステムが構築されている。

パソコンのワープロソフトを活用して、会議で述べるメッセージ文書を作成し、パソコンをホスト計算機の端末として動かして、電子会議を操作する。

3. 電子会議/DS6500の特長

実際の会議では、まず関係者の日程と会議室の空きを確認して場所と日程を調整してから、会議の開催通知を関係者に連絡する。そして、会議は参加者が同じ時間に同じ場所に集まって行なわれる。

電子会議/DS6500では、会議開催までの準備の手間と会議を行なうときの時間的・場所的な制約を受けずに意見や情報の交換が行えるものである。(図1参照)

次に電子会議/DS6500の主な特長を述べる。

3.1 メッセージ蓄積型の情報交換ツール

電子メールでは、個人単位にメールボックスを持ち他人からのメールをメールボックスに蓄積することにより、各人が好きな時間に身近な場所で、自分のメールボックスをアクセスする形で情報の伝達が行なわれる。電子会議では、会議のテーマ別にメッセージを蓄積し、その会議へアクセスすることにより意見の交換を行なうので、実際の会議のような時間的・場所的な制約がなくなる。

3.2 会議の構成

会議は、その内容によりグループ化されて管理される。さらに会議は、分科会を開設してテーマを分けることができるので、様々な会議の形態をとることができる。また、会議グループ/会議/分科会という階層構造になっているので、目的の会議や分科会の選択が容易に行なえる。(図2)

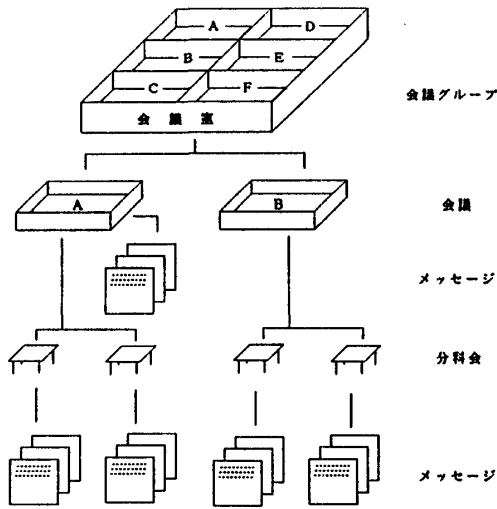


図2 会議の構成

3.3 会議の開設

会議の開設時には、会議のタイプとして公開/特定/秘密のうち、どのタイプの会議を開設するかを選択できる。各タイプの特長を次にあげる。

(1) 公開会議

誰でも自由に参加・脱会が行える。

(2) 特定会議

会議への参加・脱会には、その会議の議長承認が必要。

(3) 秘密会議

議長が参加者を設定する。参加者以外は、その会議の存在がわからない。

3.4 メッセージとコメント

メッセージには、関係する意見としてコメントが登録できる。メッセージとコメントにより、メッセージ間の関連をもたせて意見の交換が行なわれる。メッセージを表示するときも、時間的にばらばらに登録された関連するメッセージを、関連づけて表示することができる。

3.5 未読メッセージ管理

会議に参加すると、その会議に登録されているメッセージをどこまで読んだか、新しく登録されたメッセージが何件あるかなどの未読メッセージの管理が自動的に行なわれる。

3.6 参加者管理

会議の議長は、その会議の参加者の管理を行なうことができる。

(1) 参加者設定

必ず参加して欲しい人を参加状態にする。

(2) 除名

その会議への参加がふさわしくない人を除名する。

(3) 許可

特定会議で、参加希望・脱会希望者の許可を行い、参加状態・脱会状態にする。

(4) 拒否

特定会議で、参加希望・脱会希望者の拒否を行い、脱会状態・参加状態にする。

3.7 ユーザインターフェイス

本システムでは、初めて使用するユーザでも容易に使いこなせるように、メニュー方式を採用している。表示画面例を図3に示す。

参加会議一覧				89年 6月23日(金)	
参加会議数: 3 参加分科会数: 1 ページ(1/1)					
NO	ID	種別	会議グループ名/分科会名	参加者数	参加者
1	confitest	特定	電子会議テスト用会議グループ	89-06-20	参加
	confib	会議	統合テストのための特定会議		
2	confitest	特定	電子会議テスト用会議グループ	89-06-14	参加
	mesitest	会議	メッセージ関連画面試用会議		
3	confitest	特定	電子会議テスト用会議グループ	89-06-20	参加
	mesitest	会議	メッセージ関連画面試用会議		
	hank1	分科会	統合画面試用分科会		
4	confitest	特定	電子会議テスト用会議グループ	89-06-23	参加
	toac2	会議	テスト用会議2		

F1:メニュー一覧 F2:メッセージ登録 F3:脱会 F4:参加者一覧 F5:
 F6: F7: F8:初期画面 F9: Exec:メッセージ表示
 ↓、↑キーでカーソルを移動してメニューを選択して下さい。

図3 表示画面例

4. おわりに

ソフトウェア開発の世界では、地理的に離れた要員がプロジェクトを組んでソフトウェアを開発していくケースが増えてきている。そういう分散開発スタイルにおいて、電子会議がツールとして役立つ。

今回は基本機能を開発したが、今後、マルチメディアへの対応をも考慮しながら、さらにユーザインタフェースの向上を目指す予定である。